

産業政策論

担当者 明石 芳彦

開講時期 後期 単 位 2

●講義の概要

産業政策は、国が提示する産業構造ビジョンや産業上の重要な課題の解決など、次世代産業展開に関する国や地域の構想を政策の根幹とする。グローバル競争が激しい中、その内容は、産業と技術の関係だけでなく大学や地域との連携も促すなど多岐に及んでいる。本講義では、産業政策が、企業間関係やグローバル競争および地域経済にどのような役割と影響を及ぼすのか、その課題や論点は何かを、経済学の視点から、日本とアメリカを中心に概説します。

●講義の到達目標

今日の産業政策を経済学の視点から系統的に理解し、関連する論点を把握し、政策的見解を的確に説明できるようになる。

●講義計画

- 第1回：産業政策の目的と効果、位置づけ
- 第2回：就労機会と産業活動、産業政策
- 第3回：日本の産業政策：歴史的概観
- 第4回：目標産業育成政策：産業構造ビジョンと産業連関的効果
- 第5回：政府規制緩和後の産業政策
- 第6回：国の競争優位と産業クラスター形成政策
- 第7回：日本の省エネルギー政策と生産技術・品質向上
- 第8回：イノベーション推進と新興企業創出支援政策
- 第9回：地域の発展と地域産業政策
- 第10回：工業化以降・以外の産業政策
- 第11回：クリエイティブ産業推進政策
- 第12回：レジャー関連産業の政策
- 第13回：国民生活の質と産業政策
- 第14回：サービス・イノベーション推進政策
- 第15回：産業展開と政府の立場

●成績評価基準と方法

平常点50%、期末レポート50%

評価方法として、平常点とは、講義内容に対する質問や意見を出すこと。期末レポート（小論文）では、自分が検討するテーマや検討対象とする課題の明示、論理的な説明と検討・分析を通じて明らかにした事柄（結論）を提示できていること。

成績評価基準は、講義内容に関わる専門的知識を的確に把握できていること（講義内容と意見が異なる点はまったく問題でない）、関連する論点の提示や説明とそれに対する検討のプロセスが読み取れ、分析を通じて導いた結論または自分の見解が提示されていること。

●テキスト又は参考文献

使用しない。必要に応じて、参考文献を指示し、資料を配布する。

●受講上の留意点

自分の研究課題を見つけるための問題意識をもつとともに、講義を通じて研究上の着眼点を修得すること。